ボーリング柱状図

調　査　名　平成30年度上市地区　測量設計地質調査業務委託（急傾斜地崩壊対策・公共）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県庄原市総領町稲草			北緯	34° 47’ 01.3976″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和1 年 12月 25日 ～ 2年 1月 7日	東経	133° 3’ 57.6420″
調査業者名		管理技術者		照査技術者	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	286.98m	角度	180°上 90° 0°下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0° 36°
総掘進長	9.00m	使用機種		エンジン	100Vモーター	ポンプ	動噴
試錐機	軽量ボーリングマシン	ハンマー落下用具	半自動落下				

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	286.83	0.15	0.15		表土	黒褐			植物根、有機物を多く含む腐植土。														
1					風化火砕岩	暗灰、明褐～褐白			硬軟互層。軟質部は明褐～褐白色を呈し、指圧にて容易に崩せる。硬質部は、石英質安山岩で構成され、ナイフでキズをつけることはできない。 ・GL.−0.15～0.95m石英質安山岩 ・GL.−1.00～4.00mでは、安山岩と礫混じり土状部分は半々の割で分布する。		1.15	5	6	8	19／30	19							
2											1.45 2.15	6	8	8	22／30	22							
3											2.45 3.15	8	10	7	25／30	25							
4	282.98	3.85	4.00								3.45 4.15	50／2			50／2	750							12／26
5					火砕岩	暗灰、灰褐			ほとんどが硬質部分で構成され、粘土分が少ない。軟質部分は、強風化安山岩であり、指圧貫入は困難であるが、ナイフで削ることは可能である。 ・GL.−6.45～6.70m安山岩キレツ中に明褐色の粘土を含む。		4.17 5.15	7	8	10	25／30	25							
6											5.45 6.15	9	11	15	35／30	35							12／26
7											6.45 7.00	50／1			50／1	1500							
8											7.01 8.00	50／1			50／1	1500							1／6
9	277.98	5.00	9.00							1/7 9.00	8.01 9.15	6	9	35／5	50／25	60							1／7
											9.40												